

# おんじゅく

The Onjuku Koho

72-2

昭和47年

第105号

千葉県御宿町役場発行



あたたかい日ざしを受けて世間話に花がさくメザシづくり



出てきます。他の町村の広報をちらつとみましたが、わたしが編集

すると半分になつちやうなという気がするんです。あれでは読む気がしないわけです。広報が発行されまでの段階、読む人の手もと

に渡つていくまでにはひじょうに金と時間がかかるのですからおおぜいでひねくりまわしちゃうとひじょうに意味がうすれてくるんじやないかと思うんですけど。

**安藤** 各ページに町長の顔がのついていないと気げんが悪いというのがおりましたりしまして……。

**金井** いろいろ制約がありますよね。担当者は強くなくちやいけないと私は思います。

この人がいつまでも読む氣がないでひねくりまわしちゃうとひじょうに意味がうすれてくるんじやないかと思うんですけど。

**役場の理解が仕事の支え**

**滝口** あのころは、やりたいことを文句なくやらせてくれたといふことが幸せだったと思います。それだけになにかちがつたタイプの広報を出すのに苦心しました。

**金井** やりたいことをやらせた

ことがいいものを生んだ、どこの町でも通用することではないと思

います。たまたま人を得たことと写真の技術が優秀になったことで

立派なカメラも買つたし。写真六無才とい

集りますと、広報六無才とい

ことをよくいました。金がない、暇がない、読まない、理解がない、やりきれないがやめたくもなしと

いうんで、のんべんだらりとやつてたなかで御宿はめぐまれてい

ました。最初は文章もかけない、書き方もわからないのが出しちゃつて皆さんに苦労をかけたと思

ます。

**岩井** 三十一年当時は制約され

た財政事情を公表しなさいとい

ることで、発行が手一杯でした。そ

のご、滝口君が担当して、僕が原

稿つくつたんでしょうけど、数字

のられつでほんとうにお役所的な

一方通行でだしたというのが第一

号ですよ。いまはあらゆる情報機

関が発達していますからみたいと

いう気持ちをおこさせたいがたい

へんですね。ですから写真技術も

なければいけないし、努力もさる

ことながら素質がなければいけないと思うんですよ。

**滝口** 発足当時から、いろんな

段階をふんで、ここまできたわけですが、コンクールなんかもひとつの勵みになつたと思うんです。

**滝口** 五回ですね。町村の部で万年三位が続いて総務課長から「なんだ」といわれ、ちよつとがんばつてみようかという

気になりましたが、そのころがひとつ壁だつたと思います。その壁を破るひとつのかけとして村田先生の「夢うつつ物語」というのがありました。押しきせ型の広報から考えさせる広報へステップしたというきっかけにもなりました。

**渡辺** あの文章はおおきな反響がありましたね。村田先生の「夢うつつ」が出るまえには写真で読者に訴え、それから活字で呼びかけるといふことは勇気のいることですけれど先生の文章は名文でしたから成功しました。

**滝口** よその広報にはああいう論文をのせたのはそんなにないと私はあらゆる情報を書いてもらつたらどうかという案を出したのがいまの観光課長です。その意味でまたこれから広報がのびると思うんです。

**村田** その当時は年何回だした

## 「夢うつつ」で方向転換

**滝口** 五回ですね。なにか生意気なことを書きました。立派なカメラも買つたし。

**村田** なにか生意気なことを書きました。立派なカメラも買つたし。



**金井** 広報は、記録性、ニュ

ス性、もうひとつ飛躍のための夢をとりあげたもの、その三つをかねそなえ、ミックスしたものが多い

うつづ

が出てきました。観光の進め方についてひとりひとり合

つてののがいちばん効果があると

思ふんですけど、短時間にできる

ものじゃないし、広報という紙面

で絶えず訴えていればおおぜい

ひとに一度に伝えることができる

のでひじょうに活用させていただ

きました。少々出しすぎて売名的

なようなこともあってその点ひじ

ょうに……今は書く必要がなく

なつちやつたくらい皆さん認識を

深めてくれました。

**滝口** 他の町村が不思議に思うのは、観光課で広報やつていると

いうことですけど、観光の発展段階でP・R活動がすごくスムーズになつたんじゃないかと思うんです。

**金井** やはり広報は信頼されなければいけないし、そうならなければまた価値がないと思います。その点、観光協会長は広報を活用した方でしょうね。

**金井** はつきりいつて広報を活用させていただきました。観光の進め方についてひとりひとり合つてののがいちばん効果があると思うんですけど、短時間にできるものではないし、広報という紙面で絶えず訴えていればおおぜいひとに一度に伝えることができるのですが、ひじょうに活用させていただ

きました。少々出しすぎて売名的なことでもあってその点ひじょうに……今は書く必要がなくなつちやつたくらい皆さん認識を深めてくれました。

**村田** 御宿は観光がスローガンでしたから時間的にはしようがなかつたでしょうね。

**金井** 広報の中に夢がなくちやうけない。将来こうしたいということがでなくちやいけないと思っています。マスコミ関



係との接しょくも多いことだし。

滝口 広報は積み重ねで、その場かぎりであつてはいけないと思います。ひとつの方針としてもつたことは、切れば血のでるような広報をつくりたいというのが大目標であったわけです。それでつねに町民の中で躍動しているというのを目標にしていましたが、少し自分よがりのところがあつたような気もします。

安藤 ほかの広報は記事の書き



方なんかに低迷していって記事内容が批評の対象にならないわけです

## みがけ写真技術

ここのはひじょうに記述力がすぐれていますね。書き方がぜんぜんちがうんですよ。

村田 滝口課長から加藤君にかわった時にせつかくこれだけ立派なものになつたのに、だいじょうぶ

かなといつたら加藤君はおれにやらせろといったというんですよ。それでひじょうに安心しました。

安藤 町会議員さんがあつたん

ですよ。今度の広報はおもしろくなるぞというんですよ。加藤といふのはなかなかおもしろい男だというんですよ。そういう期待があるんですね。

金井 加藤君がいま広報ひとりでやっていますね。カメラマンもいるわけじゃない。カメラと記述力と編集の複合だ、と思うんです。記述力はともかく、写真の使い方とかをもう少し勉強したらと思います。他の町村と比較してではなくて前者と比較してね。

渡辺 十四、五年前写真コンクールが朝日新聞系でありまして、そうとうレベルが高かつたんです。滝口さんは、そこで実力を高く評価されたんです。そんな環境のなかで滝口さんが育つたんですね。

金井 写真の訴える力はすごくおおきいんですから写真をもう少し勉強すると文字どおり類例のないものができます。

渡辺 広報もいつまでもいまのタイプがいいとは限らないですよね。

そのときに、滝口さんがやつた同じように、自分の信念をもつた広報をつくる。そういう気持と町民に対する愛情が、広報をかえると思いませんね。

滝口 今まで、一位になると一年で消えていく広報が多くなっています。御宿のは、三位から始まって三、二、一位ととつてダウンします。二位から一位へあがるとき

に安藤さんにおめにかかり、わざわざ原稿を印刷所にもつていつてよく安藤さんにたたきこまれました。

安藤 印刷所でもひじょうに癖のある人が多いんです。原稿をもつてきていろいろ話をし、そのとおりに徹底させるとということはい

うことでしたね。

滝口 印刷所との関係はひじょうにスマーズに自分の思うとおりにできたことはよかったです。

金井 総理の施政方針以外は全部原稿を修正するという強い気持が必要。

滝口 観光が忙しいのに広報をやっている。そのうちに心構えや人との接触の問題などをへていきます。

金井 写真をもつとつこんで研究し、写真の扱い方を勉強してほしいと思います。

村田 写真を伸ばす。訴えたいところを技術面で訴求力をだすことです。

安藤 視野を広くもつてください。時世が変わると住民の要求がかわりますから幅広い感覚を身につけていただきたいと思います。

滝口 広報は町の歴史の保存です。血の通つた広報をつくるために自信をもつていただきたい。うぬばれないで、きょうお集りいただいた方々はもちろん、常に町民の方々の意見を聞いてよい広報つくりのためにがんばって下さい。

金井 好きでないとできませんね。

安藤 まったくです。

滝口 最後にこれから広報についてひとことづつ……。

金井 アシスタントがついてだんだん仕上ってきて、ひきつぐ必要があります。

滝口 なんでもよいと思います。要があります。

金井 アシスタントがついてだんだん仕上ってきて、ひきつぐ必要があります。

滝口 最後にこれから広報についてひとことづつ……。



## 編集者よ強くなれ

安藤 県下で専従の編集者のい

るところは十二、三ぐらいですか。ひとりでやっているところが多いですね。

岩井 仕事の限度がありますから特に広報等は事前に教育する必要もあるし、対外的な面も考えますとすぐに変えるということもできません。

金井 アシスタントがついてだんだん仕上ってきて、ひきつぐ必要があります。

滝口 最後にこれから広報についてひとことづつ……。

金井 アシスタントがついてだんだん仕上ってきて、ひきつぐ必要があります。

滝口 最後にこれから広報についてひとことづつ……。

## 町の広報紙をどう思いますか

創刊号保存者のご意見を聞く



廣報發行百号を記念し、創刊号保存者をつりましたところ、十二名の保存者がおりました。そこで、さっそく、これらの方々に廣報に対するご意見を書いていただきましたが、いずれもするどいご意見が寄せられました。

## 町民の心を結ぶ機関紙に

新町 小林佐美

昭和三十一年五月二十日付の第  
一號の御宿町広報が、ささやかに

越えるようになりました。わら半

B5版の小冊子に変わり、以後そ

です。

隔など一の充実はそのまま戦後の  
指、ト、ニ、ニ、ニ、ニ、ニ、ニ、ニ、ニ

深いものがあります。

県下あるいは全国の広報紙コ  
ンクールに入賞した実績のある本

には一般から募集した各種文芸の特集号などは私たちをおおいに楽しませてくれるとしてしよう。

に実費でわかるなどの配慮がほしいと思います。

まま重ねて保存しておくので散失するおそれがあります。気のきいたファイルを作つて、希望者

こと。現在の広報は穴をあけて綴じるのにしのびないつくりになつています。特に写真の部分などは傷つけるのは惜しいので、その

ておもしろいでしょ。現在、毎年だされてい町勢特集号もぜひ続けていただきたいものの一つです。

特集号といえ、時には的をし  
ばつた特集号、たとえば郷土の歴  
史、名所旧蹟のいわれ、あるいは  
観光の特集等々、いろいろあると  
思われますが、広報に変化を与え

ころ、十二名の保  
報に対するご意見  
せられました。

便りを広報で  
新町 内山 保

えたことにおおいなる敬意と祝意　発展をねがつて拙文を呈するしだいです。

発展をねがつて拙文を呈するしだいです。

男性から新聞を、女性から婦人雑誌は切り離せないという話があります。私も毎朝のようすに、食事をしながら、新聞を読みますが、本の方は販売していながら落着いて読むことが少なく、乱読で終わります。

反面、女性雑誌はよく買つてただくのを見ますと、女性の方は新聞より本の方をよく読むように思えます。ところが、「御宿町広報」は、男女を問わず、おそらく全家庭で愛読しているのではないでしょうか。とくに自分に関係のある記事がだされた広報はいつもでもたいせつに保存しておくようです。

月の沙漠の作詩者加藤まさを先生が、御宿の想い出を書かれたなかの人物の住所がわからなかつたりすると、読者が私のところへ住所を知らせてくださったり、また、広報○○号にでている記事が必要で見たいのですが、役場が休みな

新町 内山 保

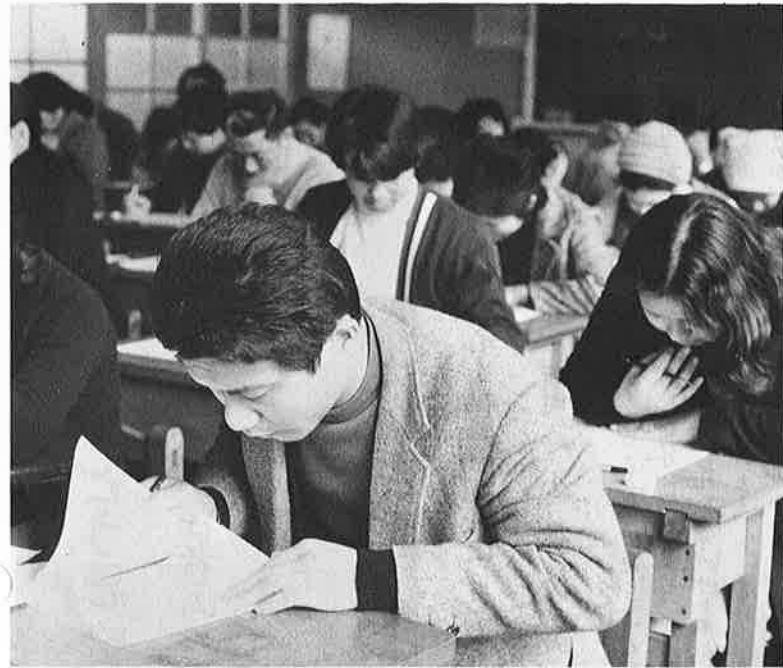
ので見せていただきたいとか、それほど広報は愛読され、あとあとまで町民にとって重要なものであります。また、郷土御宿を離れて生活している方々に、時折御宿のビッグニュースでのた広報を送つてあげたり、持たせたりすると、隣近所から知人にまで自慢して見せるようですね。

テレビやラジオで放送される、ふる里の歌祭りや、ふる里便りなどに人気があるのも、過ぎ去りし生れ故郷の想い出ほど懐しいものと思います。

御宿広報が、更半紙一枚の両面ずりからスタートし、町当局のご努力により、ついに日本一の広報にまで作りあげたご苦労には深く感謝申しあげますとともに、全町民から愛読される、魅力ある広報を多く見せてあげられたならと思うし

# 調理士ぞくぞく誕生

## 家政高校で試験



調理士の資格をとろうとする人にとっての難問、調理士試験が、二月十八日、家政高校で行なわれました。およそ三百名の受験者は、

緊張して問題とにらめっこ。今回の試験には民宿経営者が多く受験しました。

## 渚ラインをひた走り 岩和田小の耐寒マラソン

白いきれいな砂浜、御宿海岸、渚ラインを走る小さな集団。

岩和田小学校主催の耐寒マラソン。良好な学習成果は、強い体力と忍耐力から。  
ショートパンツに足袋姿で約二キロのコースを全員完走。入賞者にはごほうびがたくさんでした。



メザシ

## 発泡スチロールで 都入り

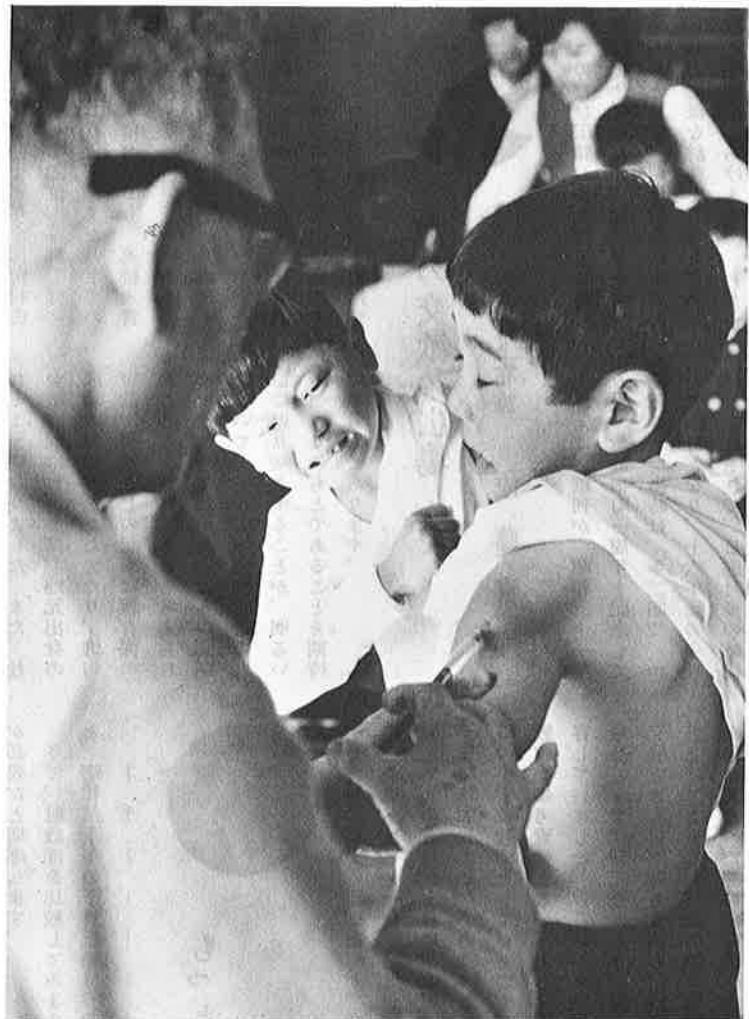
いわしの豊漁がつづき、めざしづくりが大繁忙。  
今までの木箱よりスチロールの方が衛生的ため、都会人にはうけがよいということです。



## 一年生の関門バス

### 入学前の身体検査

もうすぐうれしい一年生。新し  
いランドセルをなでまわし、はし  
らだで入学できるようです。  
やがまわる本人をよそに、親ごさ  
んは、期待と不安で落着かないよ  
うです。でも、おかあさん心配い  
りませんよ。みんなじょうぶなか  
つまつま歩く子もいるみたい。  
入学前の身体検査はみごとバス  
しました。



## 講習会が大流行

### もうかる経営おしえます

もうかる旅館経営教えます。に  
はじまり、やさしい経済学、商店  
従業員の接遇、はては税務申告の  
ための決算のし方などなど。この  
ものが主催者側とか……。



## 議会だよりに真実性

立山 吉田金吾

に応えて新しい構想で町民に届けられることはご同慶に存じます。創刊号を読みかえして感ずることは、当時の町長、井上文吉さん

のあいさつです。

新御宿町発展の喜びと将来を見通した卓越した町政の方針を述べられ、それが十六年後のいまとなつても、まだやるべき事業の多いわれわれ町民は、いつそうの努力が必要だと痛感します。

さて、財政面を比較してみると、昭和三十年の予算総額は、四千五百十五万三千円であったものが、現在は、四億八千二百五十六万七千円と十、七倍にも膨脹しています。それは金額だけでなく、仕事の内容や量が多くなったことで、文化的な生活水準の向上であつて、いわゆる社会構造の変化と経済成長のもたらした町の発展がいちばんよく現わしています。こんなに政治、行政、経済の発展が、わが町まで押寄せているにもかかわらず、他面、人口の動態をみると、その当時、九千五百十三人

とあります。

最後に、広報についてみますと、時々全国各地の広報を手にすることがあります。当町の広報ぐら

い立派なものは見あたりません。

内容において多彩であり、写真にいたっては特に優秀だと思います。企画編集に敬意を表します。

歳月人を待たずとか。おんじゅく広報誕生いらい早くも十六年がたち、このたび、広報第一号保存者として記念品をいただき、感謝の気持でいっぱいです。

席にいるようなはつきりした記事を真実につたえているあたり編集者のご苦労を察します。

なお、観光面においても、広報記事の強化により、いまや千葉県の御宿としてより、全国的に知られるようになりました。また、杜

会教育面においては、地元出身の成功者の美談をたたえたり、俳句短歌、詩集などの記事は教育面のおおきなプラスであると考えられます。ただ、ねがわくば人口問題

について、一号広報発行当時の人町づくりのもとであることを期待するものであります。

広報の内容は、きめ細かな解説特に、町政をになう議会議員の發言をもれなく記載し、しかも傍聴

コンクールで二位、写真では一ときいております。また県下での

おおきなプラスであると考えられます。ただ、ねがわくば人口問題

について、一号広報発行当時の人町づくりのもとであることを期待するものであります。

久保田辺致孝

さまのご苦労に感謝しております。

す。

広報の内容は、きめ細かな解説特に、町政をになう議会議員の發言をもれなく記載し、しかも傍聴

町づくりのもとであることを期待するものであります。

町づくりのもとであることを期待するものであります。

久保田辺致孝

## もつとおおきく育つて

一、とじ込み表紙の発行

二、とじ込みに便利な〇穴の印刷

三、文芸欄があるので郷土にちなんだ文芸的作品の投稿を歓迎。

町村合併による新御宿町が、昭和三十一年三月三十一日に発足し、翌三十一年五月二十日に、広報第一号が誕生しました。当時、私は

町の小学校教師をしていたので、教育の参考資料として、とじて保存していました。いら、十六年号数もすでに百二号となり、町の

長氏をはじめ、印刷関係の方々のひたむきな努力の賜と一町民の立場から敬意を表します。

町内のある家を訪問したとき、上りはなしに、配布されたばかりの広報を見受け、「おや、もうでたのか」わが家にも配布されたであ

らう。「早くみたい」といっしゅん



## 声の交歓の広場

上布施 佐藤喜郎

町村合併による新御宿町が、昭和三十一年三月三十一日に発足し、翌三十一年五月二十日に、広報第一号が誕生しました。当時、私は

町の小学校教師をしていたので、教育の参考資料として、とじて保

存していました。いら、十六年号数もすでに百二号となり、町の

このたび広報おんじゅく第百号

思えば、創刊が、昭和三十一年五月、新御宿町一周年を記念して

発行され、当時は、年二回で、ついで隔月となり、十六年後の今日、

月発行されて、日進月歩の時代

の一人として、百号記念にふさわしい、立派な辞典をちょうどだいし厚く感謝申しあげます。

立山 吉田金吾

このたび広報おんじゅく第百号

思えば、創刊が、昭和三十一年五月、新御宿町一周年を記念して

発行され、当時は、年二回で、ついで隔月となり、十六年後の今日、月発行されて、日進月歩の時代

の一人として、百号記念にふさわしい、立派な辞典をちょうどだいし厚く感謝申しあげます。

立山 吉田金吾

このたび広報おんじゅく第百号

思えば、創刊が、昭和三十一年五月、新御宿町一周年を記念して

発行され、当時は、年二回で、ついで隔



総務課長 みたのだということです。

井上利議員 それぞれの科目に

昇給分が計上されていますが、特に総務一般管理の場合の一人当たり昇給額が少ないようと思えますか。

総務課長 計上したものは、現になか特別に事情がありますか。

在の予算残をみて、給与改定をした場合、不足がいくらであるかといふ計算から、予算残が多くあつたので補正額を少なくみました。つまりこの数字をみて、こんどあがる額だということではありません。

## 需要増に備え協業へ

### みかん栽培の今後



農林水産課長 件数にして百四十件。農地は百二十七か所。水路七ヵ所。一ヵ所十万円未満で少額なものであるから、設計書を各個人に渡して、個人で復旧できる簡単な工法です。三月二十日までに全部支払わなこと補助の対象となるので早急に各個人でやるよううにしています。

く、おおきな実となりました。

一月二十一日、御宿農協には、

三十九点のみかんが出品されました。

当町のみかんの特長は、貯蔵向

きで、わせ物が十二月下旬、普通

物は一月中旬から三月ごろまで貯

藏するとおいしくなります。

ことしのみかんは、好天に恵ま

れず、いつもの年より甘味が少な

いといわれています。それにしても、土地ものはまずいという不評

がだんだんなくなり、糖味と酸味

を兼ね備えた味が消費者にも認め

られてきました。このため、需要

は、年ごとにたかまづきました

から、生産能力が、今まで以上に望れます。それは、協業化を進め、機動力を増し、画一された品質づくりが必要です。

なお、共進会受賞者はつぎのとおりです。

○特別賞（夷隅支庁長賞）  
立山 吉野昭義

○特別賞（普及所長賞）  
立山 吉野嘉夫

○特別賞（町長賞）  
立山 吉野正治

○特別賞（農協組合長賞）  
立山 吉田了司

みかん共進会は、六回目を迎えた。  
脱農家のふえるなかにあって、

江沢一議員 災害復旧費の四百  
七十万円について、どのくらいの  
件数があつて、どのような方法で  
工事を行なうのですか。

○一等賞 立山 吉野ちえ  
○二等賞 実谷 君塚房江  
○三等賞 立山 吉野みえ  
吉野百合子

吉野みえ  
吉野とよ  
吉野れつ  
吉野ちえ

立山 吉野れつ  
立山 吉野直  
立山 滝口福男  
立山 吉野健蔵

実谷 吉野嘉夫  
実谷 吉野成子

立山 吉野正治  
立山 吉野良典

立山 吉野直  
立山 吉野健蔵

## 東京がちかくになります

### 御宿→東京間 三十分短縮

## 房総東線電化七月完成

ふくれあがつた東京都一千万の人口の奥座敷が、くるりと伊豆の山から房総の海へと一回転した。まさに南房総一帯は観光ムードでいっぱいである。ことに、この七月から待望の房総東線電化によつて、どつと観光客が押し寄せるのは必至である。国鉄は、この房総の燃發的な夏のシーズンに対応して、数百億円の予算をかけて特急電車用として、新車（九十九両）を発注させた。この車両は季節波動用として、中央、上信越のどこへでもゆけるように機動性の発揮できるものだ。特に東京地下

鉄から隅田川の底を走つて錦糸町にでる関係上、不燃構造で冷暖房つき、デラックスな車両の特急電車（時速百二十キロメートル）がこの夏から走る。また、急行用、快速電車用として二百三十三両を発注させ、朝夕の通勤快速電車をも走らせ、通勤がひじょうに楽になる。したがつて御宿、東京間は三十分も短縮される。ほんとうに夢のように変る房総東線電化によるわが御宿町はいよいよ観光について一段とその態勢のきめこまかさが、必要ではなかろうかと思われる。

# 重いぞハタチの責任

## 町の将来に適切な助言も

### 新成人へのアンケート



てご意見を

四季型観光地へ脱皮してほしい

明るい観光都市にしてほしい。観

光資源である海岸をきれいにして

ほしい。レジャー施設をつくつて

ほしいという意見がだされました。

問5 ひと月のこづかいはどの

位?

一万円以上と答えた人が三十一  
名。一万円くらい十二名。五千円  
以下は六名。

問6 賀金をしているか

いると答えた人三十五名。いな  
い人十五名で、額は六十万円とい  
う人ありました。そのほかは四、

五万円

問7 いまいちばん不満と思っ  
ていること

らの人の住所はつぎのようになっ  
ています。

リクレーションの場がないこと  
自分の勤先。ガールフレンドがない  
こと。社会に対する不満など

となっています。

問8 結婚したらどこへ住みた  
いか

御宿三十三名、東京十六名、千  
葉県内十名、その他二名。

新成人へのアンケート

つぎの二十の問を九十名の成人  
にだしました。そのうち六十一名  
から解答がよせられました。これ

問9 いま、あなたのいちばん  
ほしいものは?

名、千葉、京都などとなっていました  
す。

問10 理想の異性像は

九名。あとは無回答

問11 沖縄が帰ってきますがど  
う思いますか。

良いことだと思う。帰ってきた  
にすぎず内容がよくない。暖かく  
むかえたい。核抜き本土みなみを貫  
ぬいてほしい。政府はどうしてア  
メリカベッたりなのだろう。

問12 結婚したら親といつしょ  
に生活しますか。

生活する二十四名、生活しない  
二十三名。

いない三十名。いる十二名。  
問13 海外旅行はどこへいきた  
いか。

問14 あなたはどの政党を支持  
しますか。

問15 将来御宿町はどんな産業  
を発展させらるべきか。

問16 成人式のあり方にについて  
ます。

問17 いわゆる過激派とよばれ  
る人たちの行動について

問18 ドル・ショツクについて  
なにか感じていることを

まわりがさわぎすぎる。ボーナ  
スをもらつて感じた。生活が苦し  
くなつた。鉄工関係に影響がで  
どうしようもない。就職がきびし  
くなりそう。デノミネーションを  
やるだろうと思います。

問19 町をよくするためになに  
かよいアイデアがあつたら、  
交通の便をよくする。議員をも  
つと若くしたらよい。合併すべき  
だ。商業主義の強い観光をやめ、  
真的観光をめざすよう。物価高や  
暴力追放に全力をあげるべきだ。

問20 成人式のあり方にについて  
もつと簡素化してほしい。一月  
三日までにやつてほしい。旅行な  
どをしたら女性は着物をきなくて  
すむ。

いかがでしたか。新成人の純粹  
な意見や希望には十分耳を傾ける  
価値があります。

写真是新しい人生の門出を晴着  
で祝うはたちの群像。

問1 成人としての感想

自分の行動に責任をもちたいと  
いう感想が多くありました。

特に夏の物価がたかすぎるので  
考慮してほしい。

問4 町の観光のあり方につい  
て

知っていると答えた人が、四十  
十人

問2 御宿町長の名前は

自家用車、金、家、ステレオ、  
恋人、理性、自由な時間の順とな  
る人がいますか。



## 雪国で御宿を宣伝

雪深い北国、会津若松市で千葉県観光と名産展が、二月十一日から十六日まで、市内Nデパートで開かれました。

真冬でも花が咲きみだれている南房総への関心は深く、連日会場と花束をおくにわか海女さん

はおおにぎわい。  
海の幸や海女さんの人気はすぐ、御宿のP・Rは大成功でした。

写真IIあなたかい房総へどうぞ

と花束をおくにわか海女さん

一畳七千円から一万元に

ことしの貸家、貸間料金  
きまる

観光協会では、ことしの夏の貸家、貸間料金をつぎのように決めました。貸家などをする方は、この料金をまもってくださるようお願いします。

岩瀬楨之氏、村田翠氏、金井英一氏、渡辺隆治氏、

滝口栄藏氏

## ○感謝状

御宿広報発展のために尽力された方々に町長から感謝状と記念品が送られました。

岩瀬楨之氏、村田翠氏、

金井英一氏、渡辺隆治氏、

滝口栄藏氏

ひと夏(七・八月)、畳一畳七

みなかまのあたたかいご理解をいただいてユーモア貯金が一千万円の大台にあと一息とせまりました。貯金がはじめられて満八年、四百名の町民のご協力で、当初の目的をはたせそう。一千万円になれば、利が利を生み、運営費もねん出されますので、いろいろと行事の計画もねられています。

ことしの行事の予定は、小さな中を明るくするために活動しようと、というユーモアの精神をさらに広めにご理解いただくために、いま層にご理解いただくために、いま若い人のご協力を望んでいます。ぜひともクラブの趣旨にご賛同くださいますようおねがいします。

## 月五十円で技術をみがける

### カメラ愛好者に朗報

カメラマニアの数が年ごとに増えています。万博、札幌とカメラマンにとって見逃すことのできない催しが、いつそうブームに拍車をかけたともいわれています。

観光の町御宿でもこのようなブームに刺激されてか、カメラを手にする人がふえています。そこで愛好会に朗報を――。楽しみなが

ら、一流写真家とともに腕をみがける愛好家のグループ――。全日本写真連盟御宿支部(金井英一支部長、会員二十名)へお気軽に入会しませんか。名前はいかめし

いですが、メンバーは、みんな素人ばかり。いますぐご入会を。月五十円で技術はみるみる上達します。

千一一万円。賄人日当は、民宿の日當に進む。なお、観光協会では、信用のおける会社等を積極的にあつせんします。この場合、あ

つせん料として、契約金額の五パーセントをいただきます。また、自己決定分については、三バーセントの分担金がかかります。

## ユーモアクラブに若い力を

みなさまのあたたかいご理解をいただいてユーモア貯金が一千万円の大台にあと一息とせまりました。貯金がはじめられて満八年、四百名の町民のご協力で、当初の目的をはたせそう。一千万円になれば、利が利を生み、運営費もねん出されますので、いろいろと行事の計画もねられています。

ことしの行事の予定は、小さな中を明るくするために活動しようと、というユーモアの精神をさらに広めにご理解いただくために、いま層にご理解いただくために、いま若い人のご協力を望んでいます。ぜひともクラブの趣旨にご賛同くださいますようおねがいします。

●おくやみ	一月	男4	女2	計6
上布施	石井秀樹	男	弘二	
久保	新井早苗	女	修	
六軒町	伊藤博子	女	功	
岩和田	江澤和利	男	正善	
岩和田	石井秀樹	男	弘二	
久保	新井早苗	女	修	
六軒町	伊藤博子	女	功	
岩和田	江澤和利	男	正善	
岩和田	石井秀樹	男	弘二	
久保	新井早苗	女	修	
六軒町	伊藤博子	女	功	
岩和田	江澤和利	男	正善	
岩和田	石井秀樹	男	弘二	
久保	新井早苗	女	修	
六軒町	伊藤博子	女	功	
岩和田	江澤和利	男	正善	
岩和田	石井秀樹	男	弘二	
久保	新井早苗	女	修	
六軒町	伊藤博子	女	功	
岩和田	江澤和利	男	正善	
岩和田	石井秀樹	男	弘二	
久保	新井早苗	女	修	
六軒町	伊藤博子	女	功	
岩和田	江澤和利	男	正善	
岩和田	石井秀樹	男	弘二	
久保	新井早苗	女	修	
六軒町	伊藤博子	女	功	
岩和田	江澤和利	男	正善	
岩和田	石井秀樹	男	弘二	
久保	新井早苗	女	修	
六軒町	伊藤博子	女	功	
岩和田	江澤和利	男	正善	
岩和田	石井秀樹	男	弘二	
久保	新井早苗	女	修	
六軒町	伊藤博子	女	功	
岩和田	江澤和利	男	正善	
岩和田	石井秀樹	男	弘二	
久保	新井早苗	女	修	
六軒町	伊藤博子	女	功	
岩和田	江澤和利	男	正善	
岩和田	石井秀樹	男	弘二	
久保	新井早苗	女	修	
六軒町	伊藤博子	女	功	
岩和田	江澤和利	男	正善	
岩和田	石井秀樹	男	弘二	
久保	新井早苗	女	修	
六軒町	伊藤博子	女	功	
岩和田	江澤和利	男	正善	
岩和田	石井秀樹	男	弘二	
久保	新井早苗	女	修	
六軒町	伊藤博子	女	功	
岩和田	江澤和利	男	正善	
岩和田	石井秀樹	男	弘二	
久保	新井早苗	女	修	
六軒町	伊藤博子	女	功	
岩和田	江澤和利	男	正善	
岩和田	石井秀樹	男	弘二	
久保	新井早苗	女	修	
六軒町	伊藤博子	女	功	
岩和田	江澤和利	男	正善	
岩和田	石井秀樹	男	弘二	
久保	新井早苗	女	修	
六軒町	伊藤博子	女	功	
岩和田	江澤和利	男	正善	
岩和田	石井秀樹	男	弘二	
久保	新井早苗	女	修	
六軒町	伊藤博子	女	功	
岩和田	江澤和利	男	正善	
岩和田	石井秀樹	男	弘二	
久保	新井早苗	女	修	
六軒町	伊藤博子	女	功	
岩和田	江澤和利	男	正善	
岩和田	石井秀樹	男	弘二	
久保	新井早苗	女	修	
六軒町	伊藤博子	女	功	
岩和田	江澤和利	男	正善	
岩和田	石井秀樹	男	弘二	
久保	新井早苗	女	修	
六軒町	伊藤博子	女	功	
岩和田	江澤和利	男	正善	
岩和田	石井秀樹	男	弘二	
久保	新井早苗	女	修	
六軒町	伊藤博子	女	功	
岩和田	江澤和利	男	正善	
岩和田	石井秀樹	男	弘二	
久保	新井早苗	女	修	
六軒町	伊藤博子	女	功	
岩和田	江澤和利	男	正善	
岩和田	石井秀樹	男	弘二	
久保	新井早苗	女	修	
六軒町	伊藤博子	女	功	
岩和田	江澤和利	男	正善	
岩和田	石井秀樹	男	弘二	
久保	新井早苗	女	修	
六軒町	伊藤博子	女	功	
岩和田	江澤和利	男	正善	
岩和田	石井秀樹	男	弘二	
久保	新井早苗	女	修	
六軒町	伊藤博子	女	功	
岩和田	江澤和利	男	正善	
岩和田	石井秀樹	男	弘二	
久保	新井早苗	女	修	
六軒町	伊藤博子	女	功	
岩和田	江澤和利	男	正善	
岩和田	石井秀樹	男	弘二	
久保	新井早苗	女	修	
六軒町	伊藤博子	女	功	
岩和田	江澤和利	男	正善	
岩和田	石井秀樹	男	弘二	
久保	新井早苗	女	修	
六軒町	伊藤博子	女	功	
岩和田	江澤和利	男	正善	
岩和田	石井秀樹	男	弘二	
久保	新井早苗	女	修	
六軒町	伊藤博子	女	功	
岩和田	江澤和利	男	正善	
岩和田	石井秀樹	男	弘二	
久保	新井早苗	女	修	
六軒町	伊藤博子	女	功	
岩和田	江澤和利	男	正善	
岩和田	石井秀樹	男	弘二	
久保	新井早苗	女	修	
六軒町	伊藤博子	女	功	
岩和田	江澤和利	男	正善	
岩和田	石井秀樹	男	弘二	
久保	新井早苗	女	修	
六軒町	伊藤博子	女	功	
岩和田	江澤和利	男	正善	
岩和田	石井秀樹	男	弘二	
久保	新井早苗	女	修	
六軒町	伊藤博子	女	功	
岩和田	江澤和利	男	正善	
岩和田	石井秀樹	男	弘二	
久保	新井早苗	女	修	
六軒町	伊藤博子	女	功	
岩和田	江澤和利	男	正善	
岩和田	石井秀樹	男	弘二	
久保	新井早苗	女	修	
六軒町	伊藤博子	女	功	
岩和田	江澤和利	男	正善	
岩和田	石井秀樹	男	弘二	
久保	新井早苗	女	修	
六軒町	伊藤博子	女	功	
岩和田	江澤和利	男	正善	
岩和田	石井秀樹	男	弘二	
久保	新井早苗	女	修	
六軒町	伊藤博子	女	功	
岩和田	江澤和利	男	正善	
岩和田	石井秀樹	男	弘二	
久保	新井早苗	女	修	
六軒町	伊藤博子	女	功	
岩和田	江澤和利	男	正善	
岩和田	石井秀樹	男	弘二	
久保	新井早苗	女	修	
六軒町	伊藤博子	女	功	
岩和田	江澤和利	男	正善	
岩和田	石井秀樹	男	弘二	
久保	新井早苗	女	修	
六軒町	伊藤博子	女	功	
岩和田	江澤和利	男	正善	
岩和田	石井秀樹	男	弘二	
久保	新井早苗	女	修	
六軒町	伊藤博子	女	功	
岩和田	江澤和利	男	正善	
岩和田	石井秀樹	男	弘二	
久保	新井早苗	女	修	
六軒町	伊藤博子	女	功	
岩和田	江澤和利	男	正善	
岩和田	石井秀樹	男	弘二	
久保	新井早苗	女	修	
六軒町	伊藤博子	女	功	
岩和田	江澤和利	男	正善	
岩和田	石井秀樹	男	弘二	
久保	新井早苗	女	修	
六軒町	伊藤博子	女	功	
岩和田	江澤和利	男	正善	
岩和田	石井秀樹	男	弘二	
久保	新井早苗	女	修	
六軒町	伊藤博子	女	功	
岩和田	江澤和利	男	正善	
岩和田	石井秀樹	男	弘二	
久保	新井早苗	女	修	
六軒町	伊藤博子	女	功	
岩和田	江澤和利	男	正善	
岩和田	石井秀樹	男	弘二	
久保	新井早苗	女	修	
六軒町	伊藤博子	女	功	
岩和田	江澤和利	男	正善	
岩和田	石井秀樹	男	弘二	
久保	新井早苗	女	修	
六軒町	伊藤博子	女	功	
岩和田	江澤和利	男	正善	
岩和田	石井秀樹	男	弘二	
久保	新井早苗	女	修	
六軒町	伊藤博子	女	功	
岩和田	江澤和利	男	正善	
岩和田	石井秀樹	男	弘二	
久保	新井早苗	女	修	
六軒町	伊藤博子	女	功	
岩和田	江澤和利	男	正善	
岩和田	石井秀樹	男	弘二	
久保	新井早苗	女	修	
六軒町	伊藤博子	女	功	
岩和田	江澤和利	男	正善	
岩和田	石井秀樹	男	弘二	
久保	新井早苗	女	修	
六軒町	伊藤博子	女	功	
岩和田	江澤和利	男	正善	
岩和田	石井秀樹	男	弘二	
久保	新井早苗	女	修	
六軒町	伊藤博子	女	功	
岩和田	江澤和利	男	正善	
岩和田	石井秀樹	男	弘二	
久保	新井早苗	女	修	
六軒町	伊藤博子	女	功	
岩和田	江澤和利	男	正善	
岩和田	石井秀樹	男	弘二	
久保	新井早苗	女	修	
六軒町	伊藤博子	女	功	
岩和田	江澤和利	男	正善	
岩和田	石井秀樹	男	弘二	
久保	新井早苗	女	修	
六軒町	伊藤博子	女	功	
岩和田	江澤和利	男	正善	
岩和田	石井秀樹	男	弘二	
久保	新井早苗	女	修	
六軒町	伊藤博子	女	功	
岩和田	江澤和利	男	正善	
岩和田	石井秀樹	男	弘二	
久保	新井早苗	女	修	
六軒町	伊藤博子	女	功	
岩和田	江澤和利	男	正善	
岩和田	石井秀樹	男	弘二	
久保	新井早苗	女	修	
六軒町	伊藤博子	女	功	
岩和田	江澤和利	男	正善	
岩和田	石井秀樹	男	弘二	
久保	新井早苗	女	修	
六軒町	伊藤博子	女	功	
岩和田	江澤和利	男	正善	
岩和田	石井秀樹	男	弘二	
久保	新井早苗	女	修	
六軒町	伊藤博子	女	功	
岩和田	江澤和利	男	正善	
岩和田	石井秀樹	男	弘二	
久保	新井早苗	女	修	
六軒町	伊藤博子	女	功	
岩和田	江澤和利	男	正善	
岩和田	石井秀樹	男	弘二	
久保	新井早苗	女	修	
六軒町	伊藤博子	女	功	
岩和田	江澤和利	男	正善	
岩和田	石井秀樹	男	弘二	
久保	新井早苗	女	修	
六軒町	伊藤博子	女	功	
岩和田	江澤和利	男	正善	
岩和田	石井秀樹	男	弘二	
久保	新井早苗	女	修	
六軒町	伊藤博子	女	功	
岩和田	江澤和利	男	正善	
岩和田	石井秀樹	男	弘二	
久保	新井早苗	女	修	
六軒町	伊藤博子	女	功	
岩和田	江澤和利	男	正善	
岩和田	石井秀樹	男	弘二	
久保	新井早苗	女	修	
六軒町	伊藤博子			